

# 小中一貫教育だより

平成 29 年 11 月 1 日 松前町教育委員会 学校教育課 発行

小中一貫教育制度とは、小学校と中学校が目指す子供像を共有し、9年間の教育目標の設定や9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育をいいます。

松前町では、現在の3小学校と1中学校を維持しつつ、4校の教職員が一体となって小中9年間の一貫した教育活動を進めていくため、平成30年度に小中一貫教育制度の導入を検討しており、下記のような取り組みを実施しておりますので紹介いたします。

## 乗り入れ授業の実施

1学期には、松城小学校の主幹教諭が、松前中学校1年生の数学の授業にTT（チームティーチング）として、また、2学期には、松前中学校の書道科教諭が町内各小学校で書道科の授業を行いました。今後、小学校の国語科についても中学校教諭が、乗り入れ授業を行う予定となっております。

※TTとは、複数の教諭が協力して授業等の指導にあたる方式です。



### ～乗り入れ授業の目的～

- 小中学校9年間を見通した連続性を重視した教育を進め、その教育課程の編成を検討するため。
- 近年、全国的に問題となっている「中1ギャップ」（中学校への進級をきっかけに学習意欲の低下や不登校になること）に対応するため。

## 小中一貫教育目標全体交流会の開催



9月7日、松前町の小中高教諭で構成している松前町教育研究所が、小中一貫教育目標全体交流会を町内公立学校の全教諭を対象に開催しました。

交流会では、中島直哉所長（小島小学校長）より小中一貫教育について説明を受けた後、教育目標の設定について、保護者や教職員の考えを十分把握し、反映させるため実施したアンケートの結果を基にグループ協議を行い、各グループから意見を発表し交流しました。

### ～交流会開催の目的～

- 小中一貫教育について教諭間での相互理解を図るため。
- 今後の教育目標となる松前町小中9年間を通じて育成する子供像について話し合うため。

## 9年間を通じた教育課程の編成について

現在、松前町教育研究所では、各教科の年間指導計画や重点指導計画を作成しております。作成にあたっては、9年間を見通した計画となることから、小学校教諭と中学校の各教科担任が協議し、現状の児童生徒の課題を洗い出すとともに、それらを重点事項とし、各学年で関連する学習内容を吟味する予定です。



### ～9年間を通じた教育課程編成の目的～

- 松前町の子どもたちが各種テスト等の結果から、課題を明確にし、各学年の学習内容の確実な定着を図るため。